

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
345	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
<p>Alcohol dehydrogenase-1B Arg47His polymorphism and upper aerodigestive tract cancer risk: a meta-analysis including 24,252 subjects.          アルコール脱水素酵素 1B Arg47His 多型と上部気道消化管癌リスク : 24252 人のメタ解析</p>	
執筆者	
Guo H, Zhang G, Mai R.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Alcohol Clin Exp Res. 2012 Feb;36(2):272-8. Review.	
キーワード	
アルコール脱水素酵素 1B、Arg47His 多型、上気道がん、上部消化管がん、メタ解析	
要 旨	
<p><b>目的：</b>          口腔内、咽頭、喉頭、食道を含む上部気道消化管(UADT)癌は世界の全ての新規の癌の約4%を占める。飲酒は UADT 癌の危険因子と想定され、アルコール代謝率はアルコール脱水素酵素 1B(ADH1B)His47Arg(rs1229984)の遺伝子多型により影響されることが明らかとなっている。頻度の高い遺伝子変異である ADH1BHis47Arg が UADT 癌のリスクに影響するかを明らかにするためにメタ解析において検討する。</p> <p><b>方法：</b>          18 研究を組み合わせ、8,539 人の症例群と 15,713 人の対象群のメタ解析となった。ADH1BHis47Arg と飲酒の遺伝子 - 環境間の相互作用、ADH1BHis47Arg と UADT 癌リスクと関連しているアルコール脱水素酵素 2(ALDH2)Glu/Lys の遺伝子 - 遺伝子間の相互作用を明らかにするために層別解析を行った。研究間の潜在的な情報源の異種性を調査し、感度解析および公表によるバイアスも調べた。</p> <p><b>結果：</b>          ADH1BHis47Arg アリルは UADT 癌のリスクの増加と関連することがわかった。オッズ比(OR)は His/Arg と Arg/Arg 遺伝子型が 1.66(95%CI : 1.54 - 1.79)、His/His 遺伝子型が 3.47(95%CI : 2.76 - 4.36)であった。Arg/Arg 遺伝子型の飲酒者における UADT 癌に対する OR は His/His 遺伝子型の非飲酒者に比べると、18.48 倍(95%CI:12.95-26.40)高いことがわかった。ADH1BHis47Arg と ALDH2287Lys アリルのキャリア間の相互作用は非キャリアと比べ、UADT 癌リスクと有意に関連していることが明らかとなった。(OR : 10.31、95%CI : 5.45 - 18.85)</p> <p><b>結論：</b>          ADH1BHis47Arg は頻度の高い遺伝子変異である UADT 癌のリスクを増加させる、さらに飲酒や ADH1BHis47Arg アリルとの相互作用により UADT 癌を発症しやすくなる。</p>	